

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立医療保健センター分室（豊能広域こども急病センター）
指定管理者名	一般財団法人箕面市医療保健センター
開催日	令和3年（2021年）8月25日～令和3年（2021年）9月24日
開催場所	書面による
合議の出席者	公益財団法人阪神北広域救急医療財団 事務局長 徳井秀朗 氏 高槻市健康福祉部保健所 参事 増田雄一郎 氏 箕面市立病院 小児科部長 長谷川 泰浩 氏 施設利用者 魚谷 千津留 氏

【概要】 別添のとおり

【総評】 新型コロナウイルス感染症の影響により患者数が前年比の約30%となったため医業収入の大幅な減収がありましたが、診療体制の適正化など事業経費の削減に努める姿勢がみられました。また、利用者アンケート結果から設備環境やスタッフ対応に関して「良い」と答えたかたは9割以上おられました。

地域医療との連携による24時間切れ目のない、休日・夜間における小児救急医療の役割を十分に果たしており、総じて指定管理者として円滑な運営を行っているとし評価いたします。

令和3年8月25日から9月24日にかけて指定管理者の評価にかかる合議を書面により行いました。

合議メンバーからの主な質問、意見に対する、指定管理者の回答は下記のとおりでした。

1. 評価シートについて

	ご意見（集約）	回答（考え等）
1	アンケートの回収率が52%と低いように思いますが、アンケートを提出しにくい原因が何かありますか。 アンケートの内容が質問に答えづらい、書きにくい状況など（子どもを連れて書きにくいなど） 原因があるなら改善できたら、もっとたくさんの意見をもらえたいと思います。	ここ数年来の回収率は、概ね40%前後で推移してきています。 令和元年にアンケート様式の見直し（質問項目の簡素化）を行いましたが、引き続き、効果的なアンケート実施を念頭に回収率の向上に努めます。
2	P.1の「経営の改善」について、収入の増加について何か取り組まれたことはありますか。 （例）新型コロナに関する取組み（抗原検査、PCR検査など）の実施、その他新たな自主事業など。	医業収入面でトリアージ実施料の算定に遺漏がないよう努めました。 また、新型コロナに関する診療行為、自主事業等は特に行っていませんが、担うべき医療水準は確保しつつ、医師等の配置数を見直すなど診療体制の適正化を図り、人件費等の支出抑制に努めました。
3	施設内の感染対策における課題と、スタッフ間での感染防止のために取り組んだことがあれば教えてください。	当センターは、待合い、診察室等のレイアウト上、患者動線の分離、隔離を完全に行うことは困難な状況にあります。 このため診療時間内は、入り口で同居家族等の新型コロナ罹患歴、濃厚接触歴等を確認し、該当ケースの入館制限を行うことに努めています。

2. 利用者アンケート集計結果及び自由記述ご意見に対する指定管理者の考え方・対応について

	ご意見（集約）	回答（考え等）
1	P.9の「ネコの目.com」について、利用者の6割がその存在を知らないということで、現在、指定管理者と箕面市ではどのような周知啓発を行っていますか。	当センターのホームページでは、「ネコの目.com」の表示位置が認知されにくい位置にあったため、令和3年度当初にトップページに位置変更しましたが、さらに館内表示等の充実も行います。 また、市の広報紙、ホームページにおいても「ネコの目.com」について定期的に情報発信しています。

2	<p>アンケートを取る時期が違えば、また、違った意見や評価が出てくるのではないかと思います。</p> <p>「かかりつけ医がありますか？」の質問は、毎年だいたい「ある」の割合が高く、かかりつけ医はあるが、なぜ夜間や休日に受診する状況（かかりつけ医があるのに、昼間は症状があっても受診せず、夜間に急病センターを受診など）になったのかの原因を調査できたら、夜間・休日の不要な受診を減らせたり、開業医の先生との連携などにつなげられるのではないのでしょうか。</p>	<p>当センターは地域の医療機関と役割分担、連携し、24時間途切れることのない小児救急医療の実現に寄与することを前提に診療方針を定めています。</p> <p>一方で「かかりつけ医」があっても子の病状、看病の不慣れ等から夜間休日の受診に至るケース、保護者の勤務形態やその他の都合による受診なども含め、多様な医療ニーズに対応しているのが当センターの実情です。</p> <p>これら多様なニーズに対応することは子育て世帯に医療面での安心感を提供、醸成することになると考えていますので、引き続き、関係市町の意向を踏まえながら当センターを運営してまいりますのでご理解ください。</p>
3	<p>検査に関するご意見がありました、診察の現場でトラブルになったことはありますか。</p>	<p>特に該当する事案はありません。</p>

3. 診療実績報告書

	ご意見（集約）	回答（考え等）
1	<p>P.5の「二次後送病院紹介患者数」について、貴センターを受診時に重症と判断され、二次救急医療機関へ転送されることになった場合、その転送手段は何によるものがありますか。</p> <p>（例）箕面市（または他市町）消防本部の救急車：〇%、患者自家用車（タクシー含む）：〇%、その他（ ）〇%）</p>	<p>令和2年度の転送手段別の割合ですが、受診当日に二次転送となった687件中、救急車によるものは18件、2.6%ありました。</p> <p>その他の669件、97.4%が自家用車、タクシー等によるものですが個別の件数、割合等は不詳です。</p>
2	<p>P.8の②市立病院等の時間外救急患者の状況の人数は、小児科（内科・外科を含む）人数ですか？</p> <p>箕面より吹田、豊中の人口が多いと思うのですが、箕面市立病院を受診者数が多いように思います。</p>	<p>患者数は小児救急での受診者数です。</p> <p>吹田市、豊中市では休日診療所が開設されているため、休日診療所のない箕面市とで市立病院の受診者数の割合に高低が生じていると考えられます。</p>

3	<p>P.10の「受診患者感染症状況の表」で、RSが0件になっていますが、今年度はニュースでも取り上げられるくらい、RS患者が多かったのに、0件というのは、検査を今できていないから0件ということでしょうか。</p> <p>患者さんがこの表を見たときに、今、流行中の病気がわかりにくいように思います。</p>	<p>検査件数は、ご指摘のとおり検査を実施していないため0件としています。</p> <p>今後は、検査を実施していないこと、表示件数等に対して誤解が生じないように記載方法に留意、再考します。</p>
4	<p>P.6「救急車による受入患者数」について、周辺市・町消防本部が救急車で搬送した場合、患者搬送後の救急隊の対応についてはどうですか。</p> <p>(例) 当該患者の二次転送等の必要性が判断されるまでの間、駐車場で待機するようにしている等</p>	<p>救急隊には、担当医師の転送要否が判断されるまで待機してもらっています。</p>
5	<p>令和2年度の患者数は、新型コロナウイルスの影響により大幅減となりました。緊急事態宣言による受診控えに加え、マスクの着用、手洗いの励行など、衛生意識が高まったことにより感染症が全くは流行らなかったことが主要因ですが、かねてより、少子化も進んでいることから、今後もこれまでの患者数に戻ることは難しいと思われます。</p> <p>ただ、令和2年度の診療実績を見ると、二次後送への紹介率は前年より高く、一次救急である急病センターとしての役割を果たしているものと考えます。体制の見直しなど経費削減も一定必要ですが、安全安心な子育て環境を維持するためには今後もなくてはならない施設であると思います。</p>	<p>ご意見内容のとおり豊能地域の小児医療を担う医療施設として当センターの存続は必要と考えています。</p> <p>昨年度は患者数の大幅な減少で事業収支に多大な収入不足が生じてしまいましたが、当面は患者数の速やかな回復が期待できないため、令和3年度も担うべき医療水準は確保しつつ、医師等の配置数を見直すなど診療体制の適正化を図り支出経費の縮減に努めます。</p> <p>引き続き、関係市町の意向を踏まえつつ、安定したセンター運営に努めます。</p>

4. その他、自由記述

	ご意見（集約）	回答（考え等）
1	<p>出務される医療従事者のシフト調整は主に誰が行っていますか。職種ごと異なる場合は、それぞれにご教示をお願いします。</p>	<p>医療従事者の職種ごとに事務局スタッフ等で手分けしてシフト調整しています。</p> <p>医師シフト、薬剤師シフトは事務局スタッフが、看護師シフトは看護師長が、検査技師シフトは検査技師及び放射線技師が調整しています。</p>

2	<p>豊能広域こども急病センターのように夜間・休日に受診できる病院があるだけでも安心できるという意見をよく聞きます。</p> <p>コロナ流行時期であり、小さい子もたくさん受診するため、マスクを100%することが難しく、感染に対して不安を抱いているかたが多いと思うので、具体的にどういう感染対策を行っているかということがわかれば、利用者側も安心して受診できるのではないかと思います。</p>	<p>受診時の感染対策として受診者の安心に有用な情報は当センターホームページ、施設内掲示などで積極的に発信しています。</p>
3	<p>施設の特徴、構造上の事情などがあるかと思っています。しかし、設立当初からほぼ同じ待合なので、利用者からの要望に対して、ずっとゼロ回答対応することは真摯に受け止めていないと捉えられかねません。</p>	<p>対応可能な要望には、できる限り対応してきましたが、施設の改修、館内区画の改変等を伴う要望は指定管理者が独自に判断、対応できないため、建物を所管する箕面市と協議、検討して対応することになります。</p>
4	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により、社会は大きく変わりました。地域医療にとっても今後の転換点になるかもしれません。引き続き、情報交換をさせていただきながら、小児救急医療のあり方について、検討して行きたいと思っています。</p> <p>最後に不安な状況の中、診療に当たっていただいている医療者の皆様に感謝申し上げます。</p>	<p>当センターでも隣接圏域の小児急病センターとの情報共有、交流は必要と考えていますので、引き続き連携いただきますようお願いいたします。</p>